

平成 25 年度実績に関する施策・基本事業評価表(兼 主要な施策の成果報告書)

基本目標No.	2	基本目標名	安全で快適な暮らしやすいまち
施策No.	19	施策名	下水道の整備
主管課名	下水道課		
関係課名			

施策が目指すすがた	<ul style="list-style-type: none"> ・下水道が整備され、市民が衛生的な生活環境の中で暮らしています。 ・独立採算制の原則を基本に、健全な下水道経営が行われています。
-----------	---

施策の成果向上に向けての住民と行政との役割分担や地域等への期待など	市・事業所 民	<ul style="list-style-type: none"> ・油や異物を流さないなど水質の浄化への意識を高めます。 ・下水道整備の目的を理解し、下水道への接続に積極的に取り組みます。
	行政	<ul style="list-style-type: none"> ・未整備地区の污水管路の整備など下水道事業を推進します。 ・独立採算制の原則を基本に、既整備地区における下水道への接続を促進するなど下水道事業収入の確保と健全経営を目指します。
	その他(地域)	

施策の トータル コスト	区 分	単位	23年度実績	24年度実績	25年度実績	26年度実績	27年度実績	28年度実績
	A. 本施策を構成する事務事業の数	本数	—	22 (22)	19 (19)			
うち基本事業①を構成する事務事業の数(うち自治事務数)	本数	—	9 (9)	5 (5)				
うち基本事業②を構成する事務事業の数(うち自治事務数)	本数	—	13 (13)	14 (14)				
うち基本事業③を構成する事務事業の数(うち自治事務数)	本数	—						
うち基本事業④を構成する事務事業の数(うち自治事務数)	本数	—						
B. 事業費 (事務事業の事業費合計)	千円	—	2,939,485	1,150,955				
うち基本事業①を構成する事務事業の決算額小計	千円	—	1,318,901	850,512				
うち基本事業②を構成する事務事業の決算額小計	千円	—	1,620,584	300,443				
うち基本事業③を構成する事務事業の決算額小計	千円	—						
うち基本事業④を構成する事務事業の決算額小計	千円	—						
C. 施策に携わるのべ正規職員数合計	人	—	51	53				
D. 事務事業に要する年間総時間	時間	—	17,300	15,900				
E. 人件費 (D×1時間あたりの平均人件費)	千円	—	76,103	66,685				
F. トータルコスト (B+E)	千円	—	3,015,588	1,217,640				
効率性 指 標	市民1人あたりにおける施策の							
	G. 事業費 (定義式 : B/人口)	円	—	66,332	26,137			
	同 上	円	—	1,717	1,514			
	H. 人件費 (定義式 : E/人口)	円	—	68,049	27,651			
同 上	円	—	68,049	27,651				
I. トータルコスト (定義式 : F/人口)	円	—	68,049	27,651				

参考	1時間あたりの平均人件費	円	—	4,399	4,194		
	魚津市の人口(各年度12月末時点)	人	—	44,315	44,036		

基本事業概要シート①

施策No.	19	施策名	下水道の整備
基本事業名①		下水道施設の整備	
基本事業①の目的(意図)		一般家庭や事業所等から排出される汚水の処理に必要な下水道整備等により、衛生的な生活環境を守り、河川などの公共水域の環境負荷の軽減を図ります。	
平成25年度における 主な事業内容(活動内容)		<p>【公共下水道事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・下水道計画区域のうち、経田地区・道下地区等の汚水管路整備を行いました。 ・魚津市浄化センター長寿命化計画による再構築事業のうち、管理棟の耐震化工事を行い、監視制御設備更新工事に着手しました。また、港町中継ポンプ場の経年的な消耗、腐食による老朽化を調査し、長寿命化計画を策定しました。 <p>【特定環境保全公共下水道事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・下水道計画区域のうち、下中島地区・上野方地区等の汚水管路整備を行いました。また、新たな管路整備事業の拡大エリアとして第6期区域の事業協議を終えました。 	

成果指標名	単位	H21年度実績	目標値(上段)及び実績値(下段)						
			22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度 (中間目標値)	32年度 (最終目標値)
下水道整備率	%	82.9	84.0	85.5	87.0	88.5	90.0	91.5	95.0
			85.3	87.4	87.8	90.2			

基本事業①を構成する事務事業の実績							
No.	会計名	事務事業名	平成25年度				担当課
			予算現額(円)	決算額(円)	予算残額(円)	1次評価結果	
1	一般会計	浄化槽設置整備助成事業	6,139,000	4,611,000	1,528,000	A	下水道課
2	下水道事業特別会計	鴨川放水路下水道移設事業	62,578,000	58,520,040	4,057,960	A	下水道課
3	下水道事業特別会計	公共下水道事業	383,810,500	244,808,500	139,002,000	A	下水道課
4	下水道事業特別会計	特定環境保全公共下水道事業	637,318,550	532,282,417	105,036,133	A	下水道課
5	農業集落排水事業特別会計	農業集落排水事業	11,650,000	10,290,000	1,360,000	A	下水道課
6					0		
7					0		
8					0		
9					0		
10					0		
11					0		
12					0		
13					0		
14					0		
15					0		
16					0		
17					0		
18					0		
19					0		
20					0		
21					0		
22					0		
23					0		
24					0		
25					0		
26					0		
27					0		
28					0		
29					0		
30					0		
合 計			1,101,496,050	850,511,957	250,984,093		

基本事業概要シート②

施策No.	19	施策名	下水道の整備
基本事業名②		安定した下水道事業経営	
基本事業②の目的(意図)		維持管理の徹底した効率的合理化を推進するとともに、経営状況を明らかにし使用料水準を適正化し、下水道経営の安定を図ります。	
平成25年度における 主な事業内容(活動内容)		<p>【下水道受益者負担・分担金事務】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・下水道整備を行った受益地区の土地所有者等に対し、未整備地域との負担の均衡を図るため、事業費の一部を負担してもらう受益者負(分)担金の請求及び徴収を行いました。 <p>【下水道使用料事務・農村下水道使用料事務】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・下水道事業における使用料対象経費となる維持管理費や資本費を賄うため、下水道使用者から適正な使用料金の請求及び徴収を行いました。 <p>【公共下水道維持管理事業・公共下水道管渠維持管理事業・農村下水道維持管理事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各浄化センターや汚水管渠の点検や整備を行い、適正な維持管理に努めました。 <p>【水洗化促進事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・未接続者への戸別訪問やPR活動を強化し、水洗化率の向上に努めました。 	

成果指標名	単位	H21年度実績	目標値(上段)及び実績値(下段)						
			22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度 (中間目標値)	32年度 (最終目標値)
経費回収率	%	65.7	70.0	72.0	74.0	76.0	78.0	80.0	93.1
			73.0	68.9	73.0	72.8			
水洗化率	%	81.1	83.2	84.0	84.8	85.6	86.4	87.2	92.0
			82.1	82.0	83.4	82.9			

基本事業②を構成する事務事業の実績							
No.	会計名	事務事業名	平成25年度				担当課
			予算現額(円)	決算額(円)	予算残額(円)	1次評価結果	
1	一般会計	浄化槽汚泥処理事業	11,560,000	9,422,378	2,137,622	A	下水道課
2	下水道事業特別会計	水洗化資金利子補給事業	10,000	0	10,000	A	下水道課
3	下水道事業特別会計	下水道受益者負担・分担金事務	842,000	417,195	424,805	A	下水道課
4	下水道事業特別会計	下水道使用料事務	12,695,000	12,694,349	651	A	下水道課
5	下水道事業特別会計	公共下水道維持管理事業	227,729,000	216,535,509	11,193,491	A	下水道課
6	下水道事業特別会計	公共下水道管渠維持管理事業	11,991,000	10,564,475	1,426,525	A	下水道課
7	下水道事業特別会計	とみ里団地浄化槽維持管理事業	1,750,000	1,596,470	153,530	A	下水道課
8	農業集落排水事業特別会計	農村下水道使用料事務	2,394,000	2,393,170	830	A	下水道課
9	農業集落排水事業特別会計	農村下水道維持管理事業	50,938,000	46,819,706	4,118,294	A	下水道課
10	予算なし	水洗化促進事業	0	0	0	A	下水道課
11	予算なし	下水道排水設備指定工事店認定事業	0	0	0	A	下水道課
12	予算なし	下水道責任技術者試験委員事業	0	0	0	A	下水道課
13	予算なし	下水道接続事業	0	0	0	A	下水道課
14	予算なし	地方公営企業決算状況調査事務	0	0	0	A	下水道課
15					0		
16					0		
17					0		
18					0		
19					0		
20					0		
21					0		
22					0		
23					0		
24					0		
25					0		
26					0		
27					0		
28					0		
29					0		
30					0		
合 計			319,909,000	300,443,252	19,465,748		

施策No.	19	施策名	下水道の整備
-------	----	-----	--------

25年度の 評価結果 (基本事業 の成果を 考慮し記載)	1. 施策(基本事業)の成果水準とその背景 (成果水準が、ここ数年の間どのように推移しているか、近隣他市と比較してどうか、住民期待水準と比較してどうかなどを記述)		
	<p>【下水道施設の整備】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆魚津市の下水道整備率は、平成21年度は82.9%でしたが、平成25年度には90.2%となり、着実に整備が進んでいます。 ◆公共下水道の整備率は、平成24年度末では魚津市は69.9%です。県内10市で比較すると中位(5位)水準になっています。 <p>【安定した下水道事業経営】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆魚津市の経費回収率は、公共下水道では、平成21年度は65.7%でしたが、平成25年度には72.8%となり、経費回収率向上の傾向となっています。 ◆魚津市の水洗化率は、平成21年度は81.1%でしたが、平成25年度には82.9%となり、緩やかに水洗化が進んでいます。 ◆公共下水道の経費回収率は、平成24年度末では魚津市は73.0%です。県内10市で比較すると中位(5位)水準になっています。 ◆公共下水道の水洗化率は、平成24年度末では魚津市は83.1%です。県内10市で比較すると低い(8位)水準になっています。 		
	2. 施策の成果実績に結びついている主な取り組み(事務事業)の総括 (25年度において、施策及び基本事業の成果向上に貢献した主な事務事業の取り組み内容を中心に記述)		
<p>【下水道施設の整備】</p> <p><公共下水道事業・特定環境保全公共下水道事業></p> <ul style="list-style-type: none"> ◆魚津市公共下水道計画に基づき下水道整備(工事)を進め、未整備区域の解消に努めました。 ◆下水道整備の新たな拡大エリアとして、第6期区域の事業協議を終えました。 ◆魚津市浄化センター長寿命化計画に基づいて、順次施設の長寿命化を進めました。 <p>【安定した下水道事業経営】</p> <p><下水道使用料事務・農村下水道使用料事務></p> <ul style="list-style-type: none"> ◆使用料について、平成22年度に改定以降4年毎に料金改定を含めた見直し作業を行うこととしており、消費税を除いて5.0%~9.0%増の改訂を検討しましたが、最終的に平成25年度は、消費税アップ分(5%→8%)のみの見直しを行うことにしました。 <p><水洗化促進事業></p> <ul style="list-style-type: none"> ◆平成22年度から始めた水洗化率向上の取り組みとして、下水道未接続世帯に対し、戸別訪問により下水道接続の勧奨を継続して実施しました。 			
3. 施策の課題認識及び取り組み状況 (前年度末で残った課題、既に現年度で取り組んでいること、又は取り組むこととしている予定を記述)			
<p>【下水道施設の整備】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆下水道整備については、未整備区域(経田、下中島、上野方、加積、等)の整備を引き続き進めます。また、事業計画変更協議を終えた新規拡大区域(第6期区域)の整備を計画的に行います。 ◆魚津市浄化センター長寿命化に向けて、平成25年度に引き続き監視制御設備再構築工事を行います。また、平成26年度から水処理施設再構築工事に着手の予定です。 ◆港町中継ポンプ場については、平成25年度に策定した耐震化を含めた長寿命化計画に基づき再構築工事を進めます。 <p>【安定した下水道事業経営】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆水洗化率について、県内で低い水準であることから、下水道未接続世帯の解消に向けて、戸別訪問エリアの拡大など水洗化率向上の施策を検討し、下水道への接続勧奨を行います。 ◆下水道管渠に浸入する不明水対策として、流量等の基本情報を整理し実態把握に努め、不明水浸入防止方法の検討を進めます。 ◆安定した下水道事業経営を図るためには、経営母体(下水道事業会計)の実態把握が重要であり、将来の企業会計導入を視野に入れた移行スケジュールの検討や資産台帳等の整備を進めます。 ◆受益者負(分)担金については、新たに整備する地区で地元説明会を開催し事業制度の周知を図るなど、賦課、徴収を適切に行います。また、受益者負(分)担金の未納者に対しては、夜間徴収するなど徴収率向上に努めます。 			

部会評価 (協議結果、 今後の方針 及び課題等 について記 載)	施策の重要度	一般
	<ul style="list-style-type: none"> ◆下水道未整備区域の管路整備を計画的に進めるとともに、浄化センターや中継ポンプ場の長寿命化に向けた再構築事業を順次進めること。 ◆経営安定化については、未接続世帯解消に向けた個別訪問を強化すること。また、将来の企業会計導入を視野に入れた資産評価等の準備を進めること。 	

経営戦略会 議における施 策の課題及 び方針	施策の重要度	一般
	<ul style="list-style-type: none"> ◆下水道未整備区域の管路整備を計画的に進めるとともに、浄化センターや中継ポンプ場の長寿命化に向けた再構築事業を順次進めます。 ◆経営安定化については、未接続世帯解消に向けた個別訪問を強化します。また、将来の企業会計導入を視野に入れた資産評価等の準備を進めます。 	